

■利用時間 午前9時30分～午後7時
■定例休館日 毎週月曜日〔祝日の場合は翌日〕
図書整理日〔月末日（土・日・月曜日の場合は翌日）〕



新着コーナー

◇一般書◇

『水のかたち』上・下

宮本輝 著／集英社

50歳になったばかりの平凡な主婦・志乃子は、ある日、閉店するという近所の喫茶店の店主から年代物の文机と茶碗、手文庫を貰い受ける。後日、その茶碗の驚くべき価値が判明して…。

『のろのろ歩け』

中島京子 著／文藝春秋

北京、上海、台湾。刻々と変わりゆく隣国を訪れた3人の女性たちは何を見つけるのか。時間も距離も超えて、新しい扉をひらく女性たちの物語を描く。旅心をくすぐる異国情緒あふれる中篇集。

『日本、買います』

平野秀樹 著／新潮社

「幽霊地主」を量産させてしまう現行の登記システム、外資による土地買収の横行…。「土地」「国土」の不明化・死蔵化・無価値化を防ぐための提言を多角的に示す。

『この年齢だった！』

酒井順子 著／集英社

『チンパンジーはなぜヒトにならなかったのか』

ジョン・コーエン 著、大野晶子 訳／講談社

『犬とハモニカ』

江國香織 著／新潮社

『空より高く』

重松清 著／中央公論新社

『六条御息所源氏がたり3』

林真理子 著／小学館

『魔法使いは完全犯罪の夢を見るか？』

東川篤哉 著／文藝春秋

『エコー・メイカー』

リチャード・パワーズ 著、黒原敏行 訳／新潮社

『本のおかわりもう一冊』

桜庭一樹 著／東京創元社

おはなしの会

日時 毎週土曜日

11月3・17・24日(土) 午後2時～

10日(土) 午前10時30分～

場所 図書館内・おはなし室

◇児童書◇

『あたまにかきのき』

村上豊 絵、唯野元弘 文／鈴木出版

柿の木の下で昼寝をしていた男の顔に、からすが熟れた実を落とした。それをそのままにしておいたら、なんと、柿の種から芽が出て、大きな柿の木に！

『おいっちにおいっちに』

トミー・デ・パオラ 作、みらいなな 訳／童話屋

少年がよちよち歩きの時、「おいっちにおいっちに」と歩き方を教えてくれたおじいちゃん。病気になったおじいちゃんを今度は成長した少年が助けます。やさしい家族観が見られる絵本です。

『ドングリさがして』

ドン・フリーマン、ロイ・フリーマン 作

／BL出版

元気なはい色のリスのアールは、外を眺めて目をぱちくりさせました。冬がそこまできています。この前の夏、すごく大きなドングリを埋めたはずだけど。あれ、どこだっけ…？

『メガネをかけたら』

たるいしまこ 絵、くすのきしげのり 作／小学館

『かけっこかけっこ』

北村裕花 絵、中川ひろたか 文／講談社

『地図からわかる日本』

猪郷久義、今泉忠明 監修／学研教育出版

『あるいてます』

みやにしたつや 作絵／鈴木出版

展示コーナー

一般テーマ『映画やドラマになった小説』

秋の夜長は何をして過ごしますか？お気に入りの映画やドラマの小説を読んで見るのはいかがでしょう？新しい魅力が見つけれられるかも。

児童テーマ『あったまろう』

季節は秋から冬へと向かっていきます。風も冷たくなってきました。からだやこころもあたたかくなるものを絵本の世界でさがしてみましよう。